



タイム
スリップ!

きょうりゅう 恐竜が生きる時代へ

背中にある大きな板状の骨で威嚇

ステゴサウルス P.19

命を守るために、のどには小さな骨が集まつたよろいがある

アロサウルス P.12

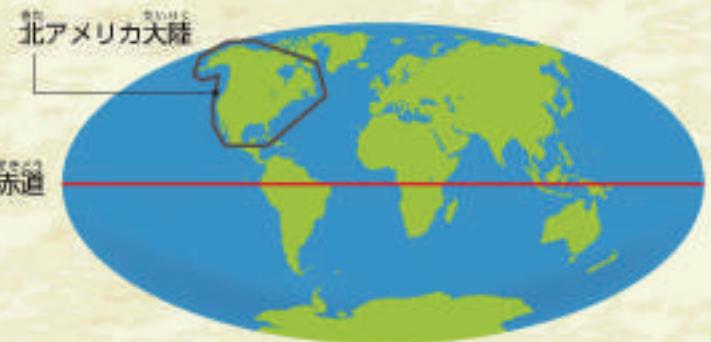
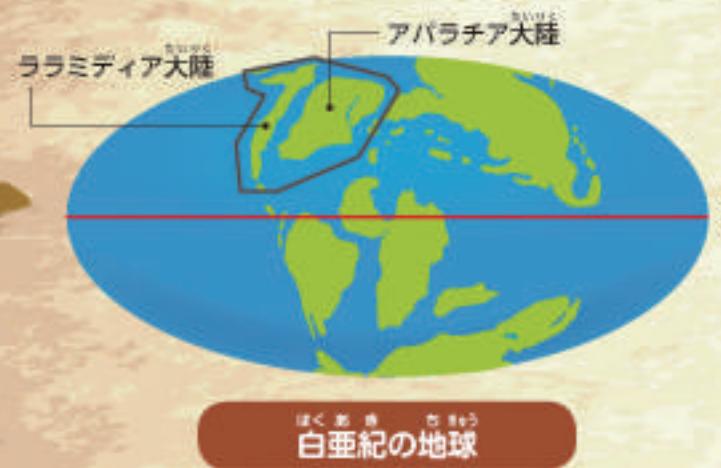
シユラ紀の北アメリカ。肉食恐竜のアロサウルスが植物食恐竜のステゴサウルスの親子においかかろうとしています。ステゴサウルスが尾の先にある4本のスパイクで反げきしたため、このスパイクで骨に傷がついたアロサウルスの化石が見つかっています。

尾をふってかたい
スパイクで反げき

ナイフのようなギザギザの
ついた歯で肉をかみ切る

するどいカキ状のツメ
でつかみかかる

ちゅうせいいたい きた きょうりゅう 中生代の北アメリカと恐竜



はくあき きた たいりく とうさい わ 白亜紀の北アメリカ大陸は東西に分かれていた!

中生代のはじめ、パンゲア (P.28) という大きな大陸がありました。ジュラ紀のころに分裂してローラシア大陸 (第2巻) とゴンドワナ大陸 (第2巻) に分かれました。白亜紀には現在の北アメリカの中央部には浅い海が広がり、東西に分断されました。この西側は「ララミディア大陸」といい、緑豊かな森林と広大な平野に、ティラノサウルスやトリケラトプス (P.16) などが暮らしていました。いまのアラスカあたりはアジアとつながっていて、恐竜が大陸の間を移動していましたと考えられています。また竜脚類 (P.14) の姿がほとんど消え、カモのようなくちばしをもつ鳥脚類パラサウロロフス (P.18) などが増えました。



ティラノサウルス類の新種が発見!

2020年、カナダで50年ぶりにティラノサウルス類の新種が発見されました。ティラノサウルスよりも1000万年前に生きていたと考えられ、全長は約8m。ティラノサウルスよりも小さいですが、当時の上位の捕食者だったと考えられ、死神を意味する「タナトテリステス」の名がつけられました。



恐竜時代の最後の覇者であり、最大級の肉食恐竜です。なんといっても頭と歯がとても大きく、アゴも幅広いのが特徴で、獲物を骨ごとくちにくたくありました。

ココがすごい!!

ティラノサウルス

成長が急激すぎる!

恐竜は鳥と同じく卵から生まれます。成長具合は骨の断面から知ることができます。ティラノサウルスの場合は12~19歳で急激に大きくなります。その成長スピードは、1年間で800kg近くも体重が増えていったという説もあります。20歳になると成長の速度は落ち、28歳ごろ寿命をむかえます。

5~12歳ごろ

ゆるやかに成長する時期。小型の近縁種とされていたナノティラノサウルスは若いティラノサウルスだったとも考えられています。



巨大な頭

肉食恐竜の中でもずば抜けて大きく、頭の長さだけで1.5m以上もありました。

世界最強の
肉食恐竜!!

羽毛があった?

近縁種の恐竜から羽毛の化石が発見されたため、ティラノサウルスにも羽毛があったのではないかと考えられています。

優れた嗅覚

わずかなにおいも察知し、獲物のいる位置がわかりました。

骨もかみくだくアゴ

食らいついた獲物を骨ごと食べられるほどのかむ力をもっていました。

短い前あし

指は2本のみで、どんな役割をしていたかはなぞです。頭やアゴが大きいので前あしは不用になり、小さく退化したともいわれています。

子ども

おとなにくらべてあしが長く、体はほっそりしていました。

太い後ろあし

約8トンの体重を支えていて、するどいカギ状のツメがありました。

がんじょうな尾

後ろあしにつながる筋肉があり、体のバランスをとったり、走ったりするときに役立ったと考えられています。

